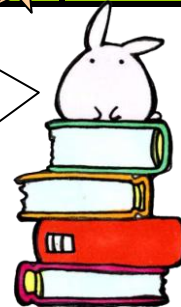


# Shono Street

庄内農業高等学校  
図書館だより  
2013.11.7  
No. 9

10月27日～11月9日は、読書週間です。おもしろい本には出合えましたか？

今回は、図書視聴覚委員が作ってくれたPOPと先生方のオススメの本を紹介します。気になった本はどうぞ借りてくださいね。



## ◆楽しめる一冊を 加藤美喜夫 先生

『チルドレン』伊坂幸太郎 著

読んで良かったと思う本には必ず「イー文」があるように思う。お勧めの「チルドレン」の場合、「大人がかっこよければ、子どもはグレないんだよ。」です。詳しい状況説明は字数の関係でできませんが、そう語る登場人物は確かにカッコイイ。自分にはできないからこそあこがれてしまうのですが、その人物の活躍は読んでいて爽快感があるわけです。それと、伊坂幸太郎の作品はほとんどが仙台が舞台になっていることも、一年間を仙台で過ごした私には親近感が持てる大きな要因かもしれません。



## ◆本当のイケメン 長谷部満 先生

『心を整える』長谷部誠 著

プロスポーツ選手には茶髪やロン毛など目立つ外見の人も多い。長谷部選手は見た目も行動も派手ではない。しかしこの本を読むと、本当に素敵な人は、外見だけではなく考え方や行動、自分以外の人との関わり方などで決まると実感できる。長谷部選手がいかにもいい男か鳥肌がたつほど実感する。

「さぼっていたら、運なんてくるわけがない。それにただがむしゃらにがんばっても運がくるとは限らない。普段からやるべきことに取り組み、万全の準備をしていれば、運が巡ってきたときにつかむことができる。」すぐに結果が出ないことでもがんばろうという前向きな気持ちになれる。

心を整える。  
勝利をたぐり寄せるための56の習慣

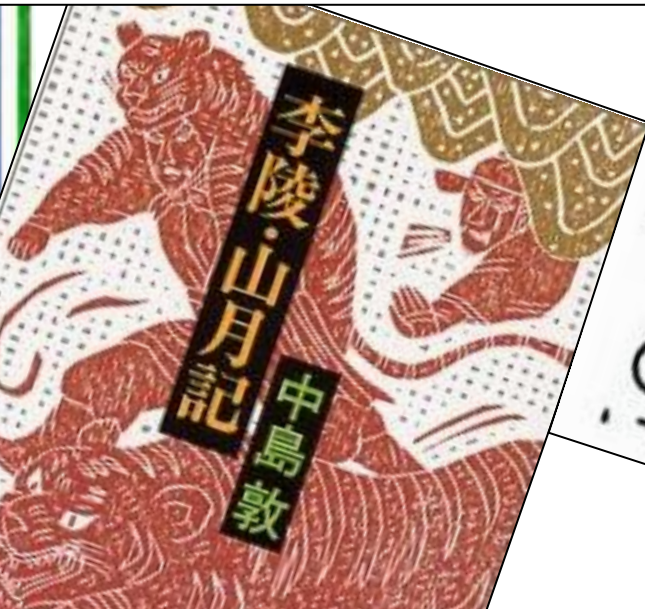
長谷部 誠

## ◆在来作物と私

釜屋隆行 先生

『おしゃべりな畑 どころかの畑の片すみでpartⅡ』山形在来作物研究会 編

在来作物。大学時代までは単に「伝統的な食べ物」でしたが、本校勤務後は私にとって「教材」へと変化しました。「地域農業史」「課題研究」でだだちゃ豆について教え、栽培したりもしました。そうした中、5年前から3年間、プロジェクト学習の教材として、「野良大根」を取り上げました。「どころかの畑の片すみで」のpartⅡである本書では「野良大根」が「ハマダイコンとピリカリ大根」として掲載されています。そうしたことからプロジェクト学習を一緒にした卒業生達と私にとって、とても思い出深い一冊になっています。図書館にもあるので一度読んでみてください。



## ◆本における「自分」探しを

有地良太 先生

『山月記』 中島敦 著

この作品は高校時代の国語の授業で学習したものである。私は、読書嫌いではあるが、授業で扱う文学作品については興味が湧くので、この作品も真面目に読んだ。すると、この作品の魅力にとりつかれたというか、この作品で虎に変身してしまう主人公、李徴に他人とは思えない何かを感じるまでに到ってしまったのである。

兎に角、この作品は私の人生観を再考させるきっかけとなった。虎になってしまった李徴と私との考え方が非常によく似ていたからである。今まで読書の経験は少ないが、この作品は、何十億いる人間の中の「私」がいるように、何十億冊という本の中の「私」という存在なのではないかと感じるのだ。この考え方が良いものかはわからないが、みなさんも本に形を変えた「自分」を探すつもりで自分に合った本を探してみてもいいだろうか。

## ◆不良少年の夢

庄司典仁 先生

### 『不良少年の夢』 義家弘介 著

北海道にある私立北星余市高校は開校以来、いじめ、校内暴力などでつまずき、居場所を失った生徒たちを受け入れてきた。現在は、全日制普通高校で唯一、中退者を中退した学年から受け入れる試みで知られている。かつてこの高校の生徒であり、今は教師として働く義家弘介が、これまでの半生を赤裸々に描いている。この本は、波乱万丈な人生の経験から考える著者の価値観がとても面白い一冊です。ぜひ読んでみてください。



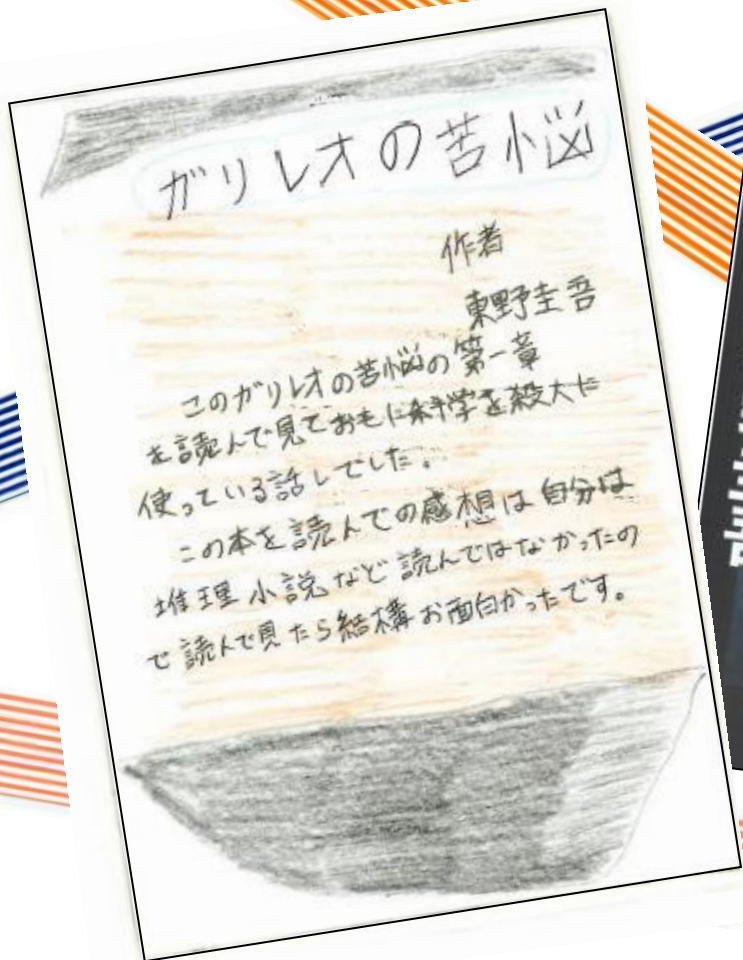
## ◆わかりやすいマネジメント

土田晋平 先生

### 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』 岩崎夏海 著

話題になったので知っている人もいるのでは。内容はタイトル通りで、野球部のマネージャーが甲子園出場を目指し、ドラッカーの『マネジメント』を参考にして、様々な課題を解決していくという内容です。

普段の生活を「なんとなく…」過ごしてしまっている人は多いのではないのでしょうか。生徒のみなさんはこれから高校を卒業し、様々な組織に所属することになります。その中で集団の先頭に立つようなことが少なからずあるはず。そんな時に物事の進め方のイメージを与えてくれるはず。目的意識、課題意識の大切さを教えてくれる一冊です。



◆本は、POPと一緒に置いてあります。  
借りることもできますのでどうぞ借りに来てくださいね。

